



笑顔で  
にっこい!

6月28日  
芦野公園こどもランド

# 生誕祭

## 芦野公園



▲名川町のサクランボやバラ、ユリなどが捧げられた太宰治文学碑



▲「チェリーコール」



▲サクランボを植樹する 津島園子さん

小雨のこの日、太宰治文学碑前には鳴海町長や津島園子さんらと県内外のファン約百五十人が集い、太宰治の生誕を祝いました。

式典は文学碑横の添碑除幕式、サクランボの苗木の植樹を行い、鳴海町長のあいさつに続き津島さんが「文学碑、添碑建立と大事にされていることに感激しています。これからも生誕百年に向けて皆様の熱い思いが続くようお祈りします」と語っていました。

この後、金木女性合唱団「チェリーコール」による合唱曲が流れる中で、出席者が文学碑に献花し太宰をしのんでいました。



▲花を手にしたファンの人たち

2001年6月19日

# 太宰治



▲除幕を行う(右から)鳴海町長、津島園子さん、三潟議長

## 『添碑』

この丘に立つ太宰治碑は彼の文業を讃え、その名声を後世に伝えるために金木町太宰治碑建立委員会が昭和40年5月3日に除幕式を行った。友人の画家阿部合成が設計制作を担当した。碑文の「撰ばれてあることの恍惚と不安と二つわれにあり」はフランスの詩人ポール・ヴェルレーヌの詩集「叢知」の中の詩句で詩人堀口大学の翻訳である。太宰が昭和10年2月に出版した処女創作集「晩年」の冒頭を飾った小説「葉」の題銘として掲げられている。  
エビグラフ

20世紀の日本を代表する小説家太宰治の文学精神と全人間像を表現するにふさわしい言葉として、彼自身のものではないが、建立委員会がこれを選んだ。

金木町の属に依り不肖の弟子である私がこの一文を草した次第である。

平成13年6月吉日

小野正文 識



▲添碑の趣旨を説明する小野正文さん

生誕祭と「添碑」建立記念式典を終えた出席者は、中央公民館で開催される「太宰治生誕を祝う会」へと場所を移し、この中で太宰研究家の小野正文さんによる「今、太宰治は」と題した講話など、会場では和やかな雰囲気以太宰談議が行われました。

関連行事として、「金木町太宰ゆかりの地写真展」が太宰治記念館「斜陽館」(十九日は無料開放)の蔵で七月十八日まで開催され、この写真展には三十数年ぶりに見つかった太宰治直筆の詩も展示されるなど訪れた人たちの目を引いていました。

また、芦野公園に隣接している櫻庭利弘美術館では、二十四日まで櫻庭利弘新作水彩展が開催されました。

金城町の基幹産業は農業。最近では観光を核とした町づくりを進めており、金城名湯三泉と体験型観光施設があり、日帰り・滞在型どちらも楽しめます。伝統芸能「石見神楽」と日本近代演劇の創始者「島村抱月」の出身地として有名。



金木

金城

かなぎ

CHOU

町名が同じ呼び名の町長さんら来町

六月二十七日、当町に訪れたのは島根県那賀郡金城町の安藤美文町長と山本省吾議長の二人。安藤町長は「かなぎ」という呼び名は全国で二ヶ所しかなく、ぜひ訪ねてみたいと思つて、今回十和田市で開催される「全国市町村ホースサミット」に出席するため来県する機会を得て訪問となりました。役場を訪れた安藤町長と山本議長は鳴海町長らと会談し、広報誌を交換し交流を深めていくことになりました。この後、両氏は当町の観光施設や名所を見学しました。

よ う から こ そ



▲「広々として景色がよく自然豊かな地で人柄が良い」と当町の印象を語る安藤町長(中)ら

金木

かなぎ

MACHI

へ

▶斜陽館にて



▲三味線にチャレンジ中の安藤町長(中)、山本議長(左)

# 全国大会出場報告

## 金木小学校女子ソフトボール部【6/18】

6月10日、芦野グラウンドで第15回全日本小学生女子ソフトボール大会青森県予選会の決勝が金木小と田舎館西小の対戦で行われ、結果は1回裏5対0金木小リードで雨天ノーゲームでしたが、この2校が8月3日から滋賀県守山市で開催される全国大会に出場することになり、齋藤校長、高橋先生と部員9人が役場を訪れ鳴海町長に報告しました。

ユニフォーム姿の部員たちへ鳴海町長が「全国大会だからと引き下がらず、普段の力を出し楽しんできてください」と激励、部員たちは元気に「はい」とこたえました。



## 喜良市小学校 陸上部 伊丸岡 操希さん【6/28】

6月24日、県営陸上競技場で行われた第17回小学生陸上交流大会青森県代表選考会女子400メートルリレーに青森山田ジュニアクラブの第2走者として出場し、同クラブが1位となり8月25日に東京都の国立競技場で行われる全国大会への出場を得ました。対馬校長、三浦先生と一緒に役場を訪れた伊丸岡操希さんに、鳴海町長は「オリンピック選手を目指し、全力を出してください」と話し、伊丸岡さんは「がんばります」と笑顔で話しました。

## 金木高校2年生3日間の就業体験

金木高校では長引く不況による就職難の中で、生徒たちが就業体験をすることで勤労観・職業観の育成を図るために、今回で2回目となる「インターンシップ」を6月11日から3日間実施しました。

2学年80人は公共施設や町内外の事業所26ヶ所で、接客や看護などを体験しました。第4保育所で保育を経験した木村陽仁さんは「保育士に興味があったが、1人対多人数ということで考えてたよりキツイ、やっていける自信は五分五分」、金木病院で看護体験した田村裕子さんは「3日間とってもいい経験ができました。ケアの時、患者さんの気持ちよさそうな笑顔が忘れられません」と話し、働くことの大変さを学びました。



▲金木病院にて



▲第4保育所にて



◀キーファルンバウムにて



## 「三月定例会」

三月六日からの一般質問で田中昇、中谷秀八、秋元洋子、加藤馨、桑田茂の五議員が登壇し、町営住宅の建替計画や農業振興対策等について、町長らに質問しました。

内容は次のとおりです。

**田中昇議員**「公営住宅ストック総合活用計画の内容はどのようなになっているのか。住宅建替えの場所、デザイン等を知りたい。」観光客が増加して町内を探索しているが、どう見ているのか。どのように商店街の活性化とつながるのか。どういうイベントを考えているのか。「水道取水場のセキユリティーはどうなっているのか。」IT革命での国、県の指導と町の対応はどうなっ

ているのか。「町のゴミのポイ捨て禁止条例はどうなっているのか。」少子化対策でどのような対応をしているのか。「小・中学生の育成についてどのように考えているのか。」

**鳴海町長**「イベント広場、観光物産館、津軽三味線会館等が完成し、観光客も十万人以上訪れることで、商店街の活性化に結びつくと考えていますが、そのようになっていない。現場の生の声を聞くべく商店街の方々と懇談会も開催している。今後も議会と相談していきたい。野外ステージを活用したイベントも増やしていきたい。「取水場のフェンスや出入口、マンホールの蓋に錠をして、職員が定期的に点検している。」観光の町にふさわしいゴミのない町にしたく、ゴミのポイ捨て禁止条例は必要と認識している。看板の設置、チラシの配付によりポイ捨てや不法投棄がないように努力する。「過疎地の一番の悩みは人口の減少である。近年、家庭事情により子供を多く持つ人が少ない。他町村では就学助成金等を出しているようであり、今後、

町でも検討したい。」

**中谷教育長**「学校内では、授業、クラブ、学級会、生徒会、児童会等で生徒指導を行い、学校外では、校外指導連絡協議会により長期休みの巡回指導等をしている。学校内でのことは校長の自主的な基準に任せているが、今後は学校へ出向いて指導したい。」

**企画観光課長**「県が十一年度に基幹ネットを稼働させ、インターネットやメールを行なっている。庁舎内のLAN構築が必要であり、関係課職員による検討会議を実施している。住民へのパソコン講習会は、公民館活動として十三年度に実施予定である。」

**建設課長**「町営住宅総合活用計画は、意向アンケート調査、策定委員会の設立のうえ、策定する。デザイン、建替え場所もストック活用手法で行なう。建替え実施時期は十六年度の見込み。」

**中谷秀八議員**「米づくりの組織的管理体制による大型団地の形成を進める考えはないか。転作による農業所得の向上対策を示せ。複業農業の実績と今後の推進方法を具体的に示せ。県養鶏指導所の跡地

利用計画の進み具合を具体的に示せ。」商店街活性化のため、イベント広場を中心としたイベントを増やす考えはないか。芦野公園、斜陽館、金木川跡地と連動する環境整備を行ってはどうか。観光と商店街の活性化が結びつかないとの意見をどう考えているか。「人口の増、財源の確保、商工業の活性化等を考え、宅地分譲をしてはどうか。建替え住宅の建築計画はどうなっているのか。」

**町長**「農家の組織的管理体制が最も重要な施策の一つと考えられ、昨年度は転作奨励金の約一千万円交付、転作組合と大豆組合及びタバコ組合そしてパイプハウスの援助を行なったが、転作あるいは複合経営などもどうあるべきか、今一度考える必要がある。」

「イベント広場の行事は仁太坊まつりと津軽の火祭り、夏まつりなどあるが、これから商工会並びに観光協会にも極力お願いしてイベントを増やしていきたい。観光と商店街活性化を結びつけるため、商店街の皆さんに再度呼びかけをしてどうあるべきか検討したい。また、芦野公園と斜陽

館、金木川跡地利用も含めて連動して散策できる方策を考えていきたい。」分譲宅地の造成は、融雪溝とか流雪溝とかいろんな施設を整えると試算で売値が坪七万五千円から八万円になってしまいうため、これが約四万円から四万五千円ぐらいで分譲ができるならば計画を考えてみたい。湯の川地区への建替え住宅建築計画は入居希望者があれば複式学級回避のためにも必要と認識している。」

**農林課長**「養鶏指導所跡地利用は、庁舎を管理事務所として利用、倉庫はそのまま活用していく。鶏舎については壊さずにそのまま残すという計画になっている。」

**秋元洋子議員**「湯の川高齢者コミュニティセンター建設の要望等の経緯を示せ。他町内への建設要望はどうなのか。」高額医療費負担について町で立替えできるか。「産業廃棄物処理施設建設のその後の動向、対策はどうなっているのか。」一般廃棄物広域処分場の現状はどうなのか。「栄養行政の主体が町に委譲されたが、栄養士の配置をどのように考えるか。」